

- 13) 永橋嘉之(1992)夏の訪れ、兵庫の屋根・奥但馬にて 因幡のむし(27):53
- 14) 木下賢司・前平照雄・福井丈嗣(1986)但馬地域の蝶類目録 IRATSUME(10):63
- 15) 大阪昆虫同好会(1989)北摂の蝶
- 16) 二宗誠治(1987)昆虫研第1回調査会報告 ホシミスジ(1):3
- 17) 山口福男(1985)朝来群山市立自然公園の昆虫 朝来群山市立自然公園及び周辺地域の自然環境調査報告 兵庫県新観光課
- 18) 京都大学蝶類研究会(1987)日本産蝶類239種類の記録(上) SPINDA(2):26
- 19) 山本広一(1971)兵庫の蝶相 月刊むし(3):4
- 20) 山本広一・吉阪道雄(1958)兵庫県産蝶類目録(1) 兵庫生物3(4):235
- 21) 岩村 巖・中谷貴寿(1964)兵庫県における蝶類分布資料(3) 兵庫生物4(5):242
- 22) 西村公夫(1967)播州高原の蝶類について 兵庫生物5(3/4):226
- 23) 岩村 巖(1968)西播の蝶分布資料(5) 兵庫生物5(5):388-389
- 24) 石井為久(1980)福崎町の蝶 てんとうむし(6):26
- 25) 蝶研出版(1996)蝶類採集情報総集編
- 26) 渡辺通人(1989)ヤマキチョウ属についての疑問 日本の生物(3):61-68
- 27) 福田晴夫ほか(1982)原色日本蝶類生態図鑑 保育社 大阪
- 29) 丹波昆虫研究会(1957)丹波の蝶 丹波昆虫(3):7
- 30) 福田善明(1975)スジボソヤマキチョウの休眠に関する生理・生態について 栃木県の蝶124-127
- 31) 川元 裕(1993)1992年度採集記録 因幡のむし(28):16-18
- 32) 永橋嘉之(1994)但馬の蝶6題 IRATSUME(18):1-4
- 33) 加藤昌宏(1981)神戸の蝶 神戸市立教育研究所神戸

(HIROHATA MASAMI 姫路市白鳥台3-11-8)

オオルリボシヤンマの採集記録

蛭田 永規

昨年(1995)の夏から秋にかけては、主にタガメ、ゲンゴロウを探し回っていた。今では、ほとんど見られなくなった彼らにもう一度会いたくて、もし会うことが出来たら、そこがどのような環境にあるのか確かめたかった。

結局、今年の夏は彼らと会うことは出来なかったが、その代わりにオオルリボシヤンマ *Aeshna nigroflava* Martin と生まれて初めて出会うことが出来たので報告する。

1995.9.24(日) 1♀(単産卵)

多可郡黒田庄町門柳

当地は、東はりま日時計の丘公園から1.5キロ北東へ行った標高150mの位置にあり、木立に覆われた約20㎡ほどの薄暗い小さな池である。(現在、農業用としては役に立っていないと思われる=いつ

潰されてもおかしくはない)

周辺は、谷地形を利用した水田地帯で、農業用のため池もある。(このため池で、同日シマゲンゴロウを採集した。3♀)

周辺の山は、ヒノキの植林、アカマツの二次林が広がっており、人の生活によって生み出された里山の景観が残っている。日当たりの良い開けた環境を好み、トンボの代名詞ともいえるギンヤンマとは対照的に昼間でも薄暗い環境のもとで人知れず産卵している雌の姿を見ていると、人にとっては価値の低い薄暗い小さな池でも里山の整備をしていく上では重要な要素として位置づける必要があるのではないかとあらためて感じた。

他には、オオアオイトトンボ(連結産卵)、タカネトンボ(縄張り占有飛行)、マユタテアカネ、リスアカネを同日確認した。

(HIRUTA HISAKI 姫路市飾磨区阿成字黒石22-3 県職員住宅212号)